

【地域の概要】

- 瑞穂市の西部に位置し、農業振興地域内の農地は約474ha（田344・畑130）ある
- 農業振興地域、農振以外の市街化調整区域を対象とした人・農地プランが市内に1つある
- 水田は認定農業者（農事組合法人、個人）への農地集積が進んでいる
- 柿畑は自作中心で、認定農業者や新規参入者に貸借されているが、担い手が不足している

①取組開始前の状況や課題

モデル地区での取組実施

○令和4年7月、農業振興地域内の七崎地区を地域計画策定に向けたモデル地区に設定

農地面積 約37ha
担い手集積率 13.6%

○11～12月に農業委員、推進委員がペアで戸別訪問など、農地利用意向アンケートを実施

戸別訪問 82戸 郵送 18戸
自作57% 貸したい37%

地域での意見交換会

○令和5年2月、自治会、農事改良組合、担い手、地区の農業委員・推進委員、事務局など参加

○アンケート結果、現況地図を基に課題、将来の農地利用を話し合い、目標地図の素案作成

○令和5・6年度に取り組みを、農業振興地域全体に広げていく

②取組内容

地域計画策定に向けた戦略会議（令和5年12月）

○市、農委事務局、JA、県、農業会議が参加し、個別に担い手の意向把握した上で、目標地図素案を話し合う担い手連携会議の実施を協議

受け手の意向把握（令和6年1～2月）

○認定農業者（個人・法人）、認定就農者、プラン中心経営体など21経営体を対象に、経営意向を個別に聴き取りし、概ね現状維持の結果を得た

担い手連携会議（令和6年3月）

○担い手、土地改良区、農業委員・推進委員、県、JA、農業会議、市、事務局など32名が参加し、5グループに分かれ現況地図でそれぞれの耕作状況を確認しながら、地域の課題、水田の集約、柿畑の担い手育成など協議

○水田担い手（法人）が集約の交換や貸借権移転に協力すること、担い手のゾーニング、集約を進めた目標地図素案をつくっていくことなど意見が出され、参加者で共有した



各グループに農業委員・推進委員が入り、現況地図（農委サポートシステム）を囲み協議

③今後の展開と方向性

協議の場の実施

- 令和6年6月を目途に自治会など地域の関係者を集め、担い手連携会議の意見を基に話し合いを実施し、農業の将来方針などについて理解を求めていく
- 地域計画、目標地図を策定し、担い手、地域の合意で、農地集積・集約を進めていく

瑞穂市 巣南町 農業振興地域

- ・ 認定農業者、認定就農者、
プラン中心経営体など、
経営体別に色塗り

